

アカウミガメ追跡

2023年9月のニュース
東方へ

マーク ライス氏

現在、南東へ移動しているカメは7頭です。他の16頭の若いアカウミガメも、10-19℃の水域に留まりながら南または南西へ移動しています。ブログにそれらについての最新情報を追加しました。

セミノフ博士

これらのブログは素晴らしいです! これらのカメは南カリフォルニア湾 (SCB) に向かっているのではないかと思います。ここは、アカウミガメが定期的で大群で現れるカリフォルニア沖の唯一のエリアでもあります。最も頻繁に発生するのは、地域の海水が最も温くなるエルニーニョの期間です。

アブレウ・グロボア博士

それらの回遊経路を見てください。カ・ラ・ウラとツバキは、あの大海原で実際に出会ったのでしょうか?

マーク・ライス氏

はい、確かにこの2頭は同じ場所を好むようです。そこに彼らを惹きつける何かがあるのだと思います。理論的には、水温が十分に温かいままであれば、彼らは全員南東方向に移動し続ける可能性があります。そうなれば、SCBに到達してメキシコのバハに向かって南下し、コシオリエビを食べることができるともかもしれません。

ブリスコー博士

はい! 第1回放流群の先頭のカメが北米の海岸 (ステップ 1) に到達し、コシオリエビの分布と関連する沿岸生息地についての詳しい情報が得られるまで、発信機のバッテリーが十分長く持続することを願っています。

ポロヴィナ博士

外洋を進む途中で、アカウミガメは、カツオノカンムリ (Veleva veleva)、外洋性巻貝、浮遊物に付着したフジツボなどの浮遊動物を餌にすることがよくあります。アカウミガメの動きが遅くなり、蛇行しているのを見ると、餌の群れに遭遇した可能性があります。